

2023年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社リビングプラットフォーム  
代表者名 代表取締役 金子 洋文  
(コード番号：7091 東証グロース)  
問 合 せ 先 財務経理部部長 下 平 直  
( TEL. 0570-01-7787)

## 2023年3月期 業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2022年8月12日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2023年3月期通期の連結業績予想値と実績値との差異(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たりの 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,951	595	262	261	59.00
実績値(B)	13,694	△234	35	91	20.62
増減額(B-A)	△256	△830	△227	△170	-
増減率(%)	△1.8	-	△86.6	△65.1	-
(ご参考)前期実績 2022年3月期	11,625	491	581	407	90.93

#### 2. 差異の理由

2023年3月期連結会計年度の業績のうち売上高につきましては、介護事業・障がい者支援事業において、新型コロナウイルス感染症拡大による稼働率の影響により、予想に対し下回る結果となりました。

営業利益につきましては、介護事業・障がい者支援事業において、新型コロナウイルス感染症拡大による経費負担増や水道光熱費、食材および資材等の調達価格が予想以上に高騰したことが大きく影響を及ぼしました。

また、2023年4月28日公表しました「会計処理に関するお知らせ」のとおり、これまで営業外費用で処理していた「控除対象外消費税等」の金額規模が大きくなったことに伴い、販売費及び一般管理費に含めて処理することしたことなどにより、予想に対し下回る結果となりました。なお、当該処理による経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の額に影響はございません。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特に水道光熱費については自治体等による補助金受給が2023年2月以降大きくプラスに寄与する想定であったものの合理的に算定することが困難であっ

たことに加え、2023年3月以降の複数の事業所開発に伴う補助金等の確定が行政手続き上遅延したこと、大規模のセールアンドリースバックの締結時期が未確定であったこと、年度末の事業開発が建築価格高騰により費用やスケジュールの確定が最後まで困難であったこと等により、業績修正の公表が遅延いたしました。

2023年3月期連結会計年度の分析については、弊社HPの「決算説明資料」をご参照ください。また、今後の見通しにつきましては、現状を踏まえ、弊社HPの「中期経営計画2025」にて2026年3月期までの事業計画をアップデートし公表しておりますので、ご参照ください。

以上